

特定高速電子計算機施設（スーパーコンピュータ「京」）
中間評価報告書（中間報告）
骨子(案)

1. はじめに

- 施設の概要等
- 事後評価の概要等
- スーパーコンピュータ「京」の位置づけ等
- 本中間評価の位置づけ及び目的
 - ・評価の項目及び視点
 - ・評価等の経緯

2. スーパーコンピュータの開発について

- シミュレーションについて
 - ・スーパーコンピュータを用いたシミュレーションの意義
- 「京」について
 - ・『京』で可能となった大規模な計算
 - ・『京』で実証された大規模計算の産業上の効果
 - ・研究開発基盤としての『京』
- ポスト「京」について
 - ・ポスト『京』の役割
 - ・ポスト『京』の自主開発の意義について

3. スーパーコンピュータ「京」の現状とこれまでの取組に関する検証

(1) 共用の促進について

<現状>

- ① 推進体制とマネジメント体制の在り方（自己点検の在り方含む）
- ② 利用者視点での共用の促進（利用制度の在り方、研究者の負荷軽減含む）
- ③ 利用者の拡大（産業利用も含む）
- ④ 有償利用の在り方
- ⑤ 利用支援の在り方
- ⑥ 利用者選定の在り方

<検証結果>

(2) 研究成果の創出及び社会への還元について

<現状>

- ① 研究開発目標の達成状況
- ② 科学的成果の創出
- ③ 分かりやすい説明（費用対効果や社会的成果を含む）
- ④ 理解増進活動
- ⑤ アプリケーション開発・普及の体制の構築

<検証結果>

(3) 施設の運営・整備等について

<現状>

- ① 効率的・効果的な施設運営（コスト低減の取組含む）
- ② 施設設置者・登録機関・課題実施機関などとの連携・役割分担
- ③ 自己収入の努力

<検証結果>

(4) 研究教育拠点の形成

<現状>

- ① 国際協力・国際貢献
- ② 他の大型研究施設等との連携
- ③ 計算機科学と計算科学の双方に精通する人材の育成（大学等との連携含む）
- ④ 地元自治体等との連携

<検証結果>

4. 今後の課題及び推進方策

- (1) **我が国のフラッグシップシステムとしての役割**
- (2) **更なる共用の促進と利用支援の強化**（コミュニティとの連携強化含む）
- (3) **画期的成果の更なる創出**
- (4) **ポスト「京」に向けて**

5. 評価のまとめ

- (1) **スーパーコンピュータの意義・価値**
- (2) **波及効果及び必要性・有効性・効率性**
- (3) **「京」の総合的な中間検証**
- (4) **今後の重点的な推進方策**

6. おわりに